

經濟環境委員會記錄

- 1 日時 令和3年6月22日（火曜日）
- | | |
|-----|----------|
| 開 会 | 午前 9時58分 |
| 休 憩 | 午前10時26分 |
| 再 開 | 午前11時14分 |
| 休 憩 | 午前11時49分 |
| 再 開 | 午後 0時08分 |
| 閉 会 | 午後 0時28分 |
- 2 場 所 第 3 委 員 会 室
- 3 出席委員 9人
- | | |
|------|---------|
| 委員長 | 押 田 大 祐 |
| 副委員長 | 尾 上 一 彦 |
| 委 員 | 飯 山 勝 彦 |
| // | 澤 田 和 秀 |
| // | 泉 英 之 |
| // | 上 野 蛭 |
| // | 舎 川 智 也 |
| // | 松 尾 茂 |
| // | 鋪 田 博 紀 |
- 4 欠席委員 0人

5 説明のため出席した者

【環境部】

部長	杉谷 要
理事（環境センター所長）	伊東 繁
部次長	茶木 聖一
環境政策課長	沼崎 益大
環境保全課長	飯田 哲
環境センター次長（管理課長）	長崎 秀樹
環境センター業務課長	田近 淳
環境政策課主幹（調整担当）	窪喜 大輔

【商工労働部】

部長	大場 一成
部次長	梅沢 宗仁
部次長（コンベンション・薬業・観光振興担当）	竹井 博文
商業労政課長	高橋 洋
工業政策課長	坂口 輝之
薬業物産課長	由水 正恵
観光政策課長	佐伯 徳生
公営競技事務所長	松本 晃司
職業訓練センター所長	宮田 一博
商業労政課主幹（調整担当）	仙石 正明

【農林水産部】

部長	山口 忠司
理事（農林水産部次長）	酒井 秀祐
部次長（技術担当）	本林 成元
農林事務所長	梅田 一好
地方卸売市場長	杉本 周児
参事（農村整備課長）	前田 剛
農政企画課長	三邊 泰弘
農業水産課長	谷井 隆彦
森林政策課長	金井 誠
農林事務所農業振興課長	余川 洋成
農林事務所農地林務課長	谷崎 友紀
地方卸売市場次長	水野 智
営農サポートセンター所長	山崎 晃
農政企画課主幹（調整担当）	高畑 亘

6 職務のために出席した者

【議会事務局】

議事調査課長	野嶽 誠司
議事調査課主任	牧石 真理
議事調査課主事	北山 栞

7 会議の概要

委員長

予定の時間より早いですけれども、おそろい
ですので、ただいまから令和3年6月定例会
の経済環境委員会を開会いたします。

審査に先立ち、委員会記録の署名委員に、上
野委員、舎川委員を指名いたします。

各案件の審査については、各部局単位とし、
お手元に配付してあります審査順序のとおり
行う予定であります。

なお、質疑については、議案に直接関係ある
ものだけをお願いいたします。

また、委員及び当局の皆さんに申し上げます
が、質疑・答弁及び説明については、簡潔・
明瞭に行っていただきますようお願い申し
上げます。

どうしても苦しい場合は、マスクを若干外す
など、健康に留意しながら質疑・答弁等をし
てください。

これより、環境部所管分に入ります。

報告案件として提出されている

報告第14号 専決処分報告の件（損害賠償
請求に係る和解の件）中、専決第31号、

報告第32号 経営状況報告の件（公益財団
法人富山市生活環境サービス）、

以上2件を一括議題といたします。

これより、順次、当局の説明を求めます。

環境部長 〔挨拶〕

環境センター業務課長 〔報告第14号について、
議案書により説明〕

環境政策課長 〔報告第32号について、
議案書により説明〕

委員長 これより、質疑に入ります。
質疑はございませんか。

鋪田委員 議案書171ページの令和2年度事業報告の
個別排水処理施設の維持管理の件で、施設の
件数がプラス6件と説明がありました。件数
全体から見ればそんなに大きい増ではないの
ですが、まず、この個別排水処理施設につい
て、どんなところが対象になっているのです
か。

環境政策課長 どこといいますか一個別排水処理施設は、各
世帯から依頼をいただくものでございます。
毎年多少の増減はございますので、特定でこ
こというキーポイントでの御説明は難しいと
ころでございます。

鋪田委員 個別の話聞いていたのではなくて、対象は個人のお宅等なのかという確認だったのです。件数が増えているということは、例えば民間の事業者が減ってきて、こちらは増えているのか、その要因が何か分かれば教えていただきたいです。

環境政策課長 民間の事業者そのものの数は、横ばいないし若干減の傾向にあるというところでございます。下水道の普及が背景でございますので、こういったものの市場としては縮小傾向にあると考えております。

鋪田委員 その中で、こうした公益財団法人と民間とのバランス、役割分担というようなことが、今後の経営を考えていく上で必要なのかなと思って確認させていただきました。

舎川委員 今、環境政策課長のほうから、収益環境はどんどん厳しい状況になっているというふうにお聞きしました。

令和2年度事業報告の中で、産廃汚泥引抜量について、40キロリットルの減ということで、全体に見る割合とすれば非常に大きいと思います。その理由を教えてください。

環境政策課長 主な理由としましては、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響があって、民間事業者の経営活動が多少減少したことが原因と考えております。

舎川委員 もう1点、施設の維持管理事業等（収益事業）の中で、先ほども御紹介されました海洋プラスチックごみ回収・分析等業務ですが、これは網場の話ですよ。令和2年度は569キロリットルということですが、今年度も一発表があったかと思いますが一実施はされるのですか。

環境政策課長 今年度も引き続き実施し、5月から10月までの約6か月間で行う予定です。昨年度は2か月でございましたので、今年度は期間を大分延ばして実施しているところがございます。

舎川委員 今、海洋プラスチックというのは一環境にどれだけ影響があるのかということは置いておいて一非常に注目されているところであります。昨年度は596キロリットルのごみを回収したということでありましてけれども、そのうちプラスチックごみはどれぐらいあったのですか。

環境政策課長 まず、がめ川につきましては、約10%がプラスチックごみでした。それから、広田用水と千俵用水はそれぞれ5%ぐらいのプラスチックが混入していたという感じでございます。

舎川委員 今年度は期間を延ばして実施するというところで、収益にとっても環境にとってもプラスになっていくかと思っています。
そこでもう一つ、ちょっと細かいことですが、議案書169ページの賃借対照表について、参考までに教えてください。流動資産の有価証券はどういった類いのものでしょうか。

環境政策課長 有価証券は電力債です。東北電力等の電力債をメインに購入といたしますか、資金運用をさせていただいているところでございます。

舎川委員 それは環境部で持たれるものでいいのですか。保有している有価証券としては妥当なものということなのですか。

環境政策課長 富山市生活環境サービスという公益財団法人の中での資金運用として適切であると考えております。

舎川委員 もう1点だけ一議案書170ページの基本財

産運用益について、前年度から見て当年度は非常に少なくなっているのです。400万円減ということで、収益全体の中で見たら大きい減ということになっていると思うのですけれども、これはこういった類いのものなのですか。

環境政策課長 こちらのほうは、富山駅北、牛島にもともと駐車場を持っていたのですけれども、これを昨年度売却したことによって、その運用益、駐車場の利用料の収益というものが……

舎川委員 今年度はないと。

環境政策課長 はい。駐車場の収益がなくなりましたので、その関係でございます。

飯山委員 最初のほうの話の関連なのですけれども、個別の浄化槽の管理とくみ取りをしていると。それを公共下水道に切り替えると、金額は大分変わってくるのですか。どちらのほうが環境部的には利益が上がるのかなと思ひまして。

環境政策課長 下水道接続に係る経費については、それぞれ条件が異なるので一概には言えないと思ひます。これまでよりも安くなる場合もあります

し、高くなる場合もございますので、個別のケースでの判断になると思います。

飯山委員 浄化槽の場合はどれだけ使っても処理するのは一緒ですが、公共下水道で流すときは水道料金がかかるから、それで分からないということなのですね。分かりました。

委員長 ほかに質疑はございませんか。

〔発言する者なし〕

委員長 ないようですので、これをもって質疑を終結いたします。

なお、ただいまの報告案件につきましては、議決不要のものです。

次に、環境部所管分でただいまの報告以外に何か質問はございませんか。

松尾委員 地域の課題でもありますけれども、ごみの集積場のことでお伺いしたいといひますか、問題提起をさせていただきたいと思ひています。世帯数がかかり増えている地域に言えることだと思ひますけれども、現在のごみの集積場だけではもう間に合わないという現状があつて、それを広げるか、それとも増やすかと

いったところで、地域において一生懸命探して、この場所ということで地域の住民の皆さんの了解を得て、環境センター等に相談を持ち込んでいるという感じですか。

もちろん、環境センターの方も非常に親身になって、一生懸命相談に乗っていただいているのですけれども、そうした集積場を増やしたいといった要望などは、今現在分かる範囲でどれぐらいあるものなのかと思ったので、聞かせていただければと思います。

環境センター業務課長

ごみの集積場の設置に当たりまして、地域ですとか共同住宅を考えておられるところ、開発地域、開発をしているようなところからの相談件数は、大体10件から20件近くとなっております。

松尾委員

集合住宅などに新たに設置ということは当然あると思いますけれども、今、地域の問題として増やすということに関して一環境センターにも相談していると思いますが一やはり道路交通法の問題が非常に大きくて、恐らく環境センターの皆さんもそれに悩まされて、町内からここでお願いしますと言われても、「いや、ここは道路交通法に引っかかるから無理です」といったやり取りをずっとやってい

ると、町内においては、「では、どうすればいいのだ」という声を正直いただいているような現状であります。

やはり公園内とか一建設部の話にもなってくるのですが一よくあるのは、用水の上に置くということも考えられると思います。

今回私が要望としてお願いしたいのは、要は環境部だけの問題ではないということをもまず理解していただいて、他部署としっかり連携を取ってほしいと。環境センターの職員の皆さんも御苦労されているということは御存じなのだろうとは思いますが、部としてしっかりと対応してもらえないかなと思ひまして、部長の見解を聞きたいのです。

環境部長

ごみ集積場の問題につきましては、近年いろいろと、御相談を受けるなどといったことをしております。委員がおっしゃるとおり、道路交通法の問題がやはり非常にネックになってきているといたしますか、建てること自体については、別に法に違反しているわけではございませんけれども、収集の際に、集積場の前で停車してそこから収集を開始するという事で、それが駐停車違反になってしまうと。最近、規制といたしますか、取締りが非常に厳しくなったということで、新たに建てること

ろや建て替えをする際に、そういった問題を解消していきたいという思いでございます。その際に、いろいろと他部局なりと関係してくるかとは思いますが、案件によってどこに関係してくるのかは変わってくるかと思っておりますので、環境センターで相談された際に、関係する部局とスムーズにやり取りをしていきたいと思っております。

松尾委員

その都度になると思うのですが、対応、努力をさらにしていただけたらと思っておりますので、よろしくお願いします。

泉委員

ごみの集積ボックスに関連して、今、旧大山町の山間部は高齢化が大変厳しくなって、独り暮らしのおじいちゃん、おばあちゃんが結構住んでおられるのですが、集積ボックスの蓋が開かない、つまり鉄板の重いものなので開けることができないということで、ごみ出しに大変苦労されています。

その場に置いておけば、カラスがつつくということなのですが、蓋が開かないものは私の周りだけでも一旧大山町の影響なのかは分かりませんが一5か所あるのですよ。

それで、今、地域の中では、どうしても開かないというボックスだけは別に買って、半額

の補助をいただけるということで考えてはいるのですが、これからどんどんそういう家庭が増えてきます。ボックスは1つで10万円から15万円くらいするはずなので、半額の助成をいただいても7万円くらいかかりますし、全部替えるときは35万円かかると。それが大山地域の問題になっているので、せめて蓋が軽く開くようなものに改善できないかお伺いしたいのです。

環境センター業務課長

現在のごみ集積場につきましては、各地域において設置されているものということになります。ごみを入れるボックスを市が設置しているわけではなく、町内会で設置されるときに市から補助を出しているという形になりますので、集積場自体は町内会などで管理していただいているものになります。

蓋を替えるということにつきまして、市のほうでできないかというふうなお話ですけれども、町内会でその蓋を替えるという話をしたいと。

泉委員

すみません、認識不足で分からないのですけれども、地域でお金を出して集積ボックスを買ったという経緯が今までにないのです。合併前のものがそのまま残っているという可能

性があるのかもしれませんが、旧富山市のものとやっぱり形態が違うのではないかと思うのです。

蓋を上げるときには私でも右手が痛くなるくらいの重たいものを使っています。カラスの被害のこととか、雪がかなり降るものですから、へこんだりしないようなものになっているのだと思うのです。一度状況を確認していただいて、対策を検討していただけたらと思って要望だけしておきます。よろしくお願ひします。

舎川委員

今、カラスの話が出ましたのでお尋ねします。暖かくなってきて、季節も夏に近づいてきているということで、それこそごみ集積場について、しっかりとしたものになっていけば管理できるのですけれども、やはりうちの近くでもカラスがうろついたりして、ごみが散乱したりするということがあります。

カラスについては前の環境部長も大変力を入れておられて、中心部周辺については、最近そんなに多くないかなと、これまでの富山市の施策が影響してちゃんと減っているのではないかなと思いますけれども、杉谷環境部長は今後どのように考えていかれるのか、見解をお伺ひします。

環境部長 前環境部長に引き続き、カラス対策についても頑張っていきたいと思っております。カラスについては随分と勉強いたしておりまして、ハシボソガラスとハシブトガラスの見分けがつくようになりました。そういった勉強もしておりますので、カラス対策については今後とも力を入れていきたいと思っております。

委員長 ほかに質問はございませんか。

〔発言する者なし〕

委員長 ないようなので、この程度にとどめます。
以上で、経済環境委員会環境部所管分を終了いたします。

午前10時26分 休憩

~~~~~

午前11時14分 再開

委員長 経済環境委員会商工労働部所管分の議案の審査を行います。

議案第159号 土地処分の件（呉羽南部企業団地分譲地）、

議案第160号 土地処分の件（呉羽南部企業団地分譲地）、

議案第161号 土地処分の件（呉羽南部企業団地分譲地）、  
議案第162号 土地処分の件（呉羽南部企業団地分譲地）、  
議案第163号 土地処分の件（呉羽南部企業団地分譲地）、  
以上5件を一括議題といたします。  
これより、当局の説明を求めます。

工業政策課長 〔議案説明資料により説明〕

委員長 これより、質疑に入ります。  
質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 ないようですので、これをもって議案の質疑を終結いたします。  
これより、議案第159号から議案第163号まで、以上5件を一括して討論に入ります。  
討論はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 討論なしと認めます。  
これより、議案第159号から議案第163

号まで、以上5件を一括して採決いたします。  
各案件は、原案のとおり決することに御異議  
ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

御異議なしと認めます。

よって、各案件は原案可決されました。

以上で、商工労働部所管分の議案の審査を終  
了いたします。

次に、報告案件として提出されている

報告第33号 経営状況報告の件（一般財団  
法人富山勤労総合福祉センター）、

報告第34号 経営状況報告の件（公益財団  
法人富山市勤労者福祉サービスセンター）、

報告第35号 経営状況報告の件（一般財団  
法人岩瀬カナル会館）、

報告第36号 経営状況報告の件（富山大手  
町コンベンション株式会社）、

報告第37号 経営状況報告の件（大山観光  
開発株式会社）、

以上5件を一括議題といたします。

これより、順次、当局の説明を求めます。

商業労政課長

〔報告第33号について、

報告第34号について、

議案書により説明]

薬業物産課長 〔報告第35号について、  
議案書により説明]

観光政策課長 〔報告第36号について、  
報告第37号について、  
議案書により説明]

委員長 これより、質疑に入ります。  
質疑はございませんか。

鋪田委員 富山大手町コンベンション株式会社の件でお伺いします。  
今ほど「コンパクト デリ トヤマ」の説明がありました。事業をスタートするときに、私も担当委員会のメンバーでした。委員会では厳しい意見も出された中でスタートして、その後いろいろな課題もあった中で、今も事業として実施していらっしゃいます。  
そもそも今の経営状況報告では一ほかの法人もそうですが一コロナ禍の影響を非常に大きく受けたということでしたけれども、「コンパクト デリ トヤマ」に関してはもともと課題があった中で、それがさらに顕在化したのかなという思いもあるのです。それについ

ては、今回の報告の中でそこまで踏み込んで説明がなかったのですが、どういう状況だったのかお聞かせいただけますか。

観光政策課長 「コンパクト デリ トヤマ」につきましては、ある程度売上げがあれば収支がとんとんで営業ができるだろうと。昨年のコロナ禍前までは収支が何とかぎりぎりというか、大体とんとんという形で、そんなにもうけもないけれども負担もないということでございました。それがコロナ禍になって、一般の利用者も大きく落ち込みまして、いわゆる負担だけが増えるということになりましたので、現状は、昨年の4月から休止という状況でございます。

鋪田委員 そうすると、「コンパクト デリ トヤマ」という事業そのものが持っている課題としては今はそれほどなくて、純粹に新型コロナウイルス感染症の影響を受けただけというふうに当局は捉えていらっしゃるということでしょうか。

観光政策課長 もともと市中心部のエリアで、土日の昼間に営業している飲食店が非常に少ないというようなお話があったところから、国際会議場の

スペースを使った飲食店の営業という話が当初あったと伺っております。

今は、大和富山店など、いろいろと飲食店ができましたし、SOGAWA BASEも含めて、土日の昼間に営業している飲食店や施設が増えましたので、いわゆる施設の利用者に対しての利便性を図るために今後やっていけばいいのではないかとということで、現在は休止という形にしております。

今年度に関しましては、施設利用者が利用したい場合にスポット営業で、なるべく経費をかけずに維持していければいいのではないかと考えているところでございます。

泉委員

議案書205ページの大山観光開発株式会社の令和2年度事業報告についてお伺いしたいのですが、雪が降って4,500万円の黒字ということで、地元の議員としては本当によかったなと思っています。

一昨年度から貸しスキーを導入されまして、収入は多分180万円から200万円だったと記憶しているのですが、昨年度の貸しスキーの収入は2,200万円くらいということで、約10倍になりました。一昨年度は雪が降りませんでしたので、そういう収入だったと思うのですが、昨年度は2,200万円ほ

どの売上げがある中で、個人での利用もありますし、小・中学校の団体の利用もあると思います。大体どのくらいの方々が利用されているのか、数を教えてください。

観光政策課長 学校での利用につきましては、小学校が16校、高校は2校においてレンタルスキーの利用がございました。

泉委員 大体の数でいいのですが、個人と団体の数はそれぞれ分かりますか。

観光政策課長 レンタルスキー全体では8,638件の利用があったところなのですが、そのうち、いわゆる個人でレンタルされた件数が5,859件でございます。団体に関しましては18団体でございます。利用数に関しては人数になりますので、そういうことで御理解いただければと思います。

泉委員 私は昨年度まで厚生委員会にいました。スポーツ健康課は市民生活部ですから、その方々にお伺いしたところ一小・中学校を合わせると市内に大体80校から90校あると思うのですが、一昨年は雪が少なかったものですから、小・中学校の屋外活動、スポーツがスキ

ーからスケートに移っている学校が多いということがありました。

基本的には学校長の判断に任せているということだったのですが、コロナ禍もあったのでしょうけれども、80校から90校あるうちの約十五、六校が貸しスキーを利用したということになると、残りの75校ほどはこういったスキー場を利用していないと。山田地域の牛岳温泉スキー場に行っている可能性も考えられますが、比較的少ないと。

富山市にいる子どもたちには基本的にスキーをさせてあげたいという思いがあります。

縦割りの世界の中で、スポーツ健康課が市民生活部にあって、また、教育委員会でどこに行くのか決めているということです。

牛岳温泉スキー場も大山観光開発株式会社もそうなのですが、今言うように小・中学校がうんと来れば、レンタルスキーで数百万円の売上げができるということになりますので、商工労働部を通じて横のつながりというか、学校でなるべくスキーを採用してほしい、利用してほしいと教育委員会に伝えるお考えがあるのかないのか、部長にお伺いします。

商工労働部長 ウィンタースポーツ、特にスキーは、富山県では昔から大変盛んだというふうに理解して

おります。私も昔は小学校からスキーへ行っ  
たものですから、そういったことは長年の歴  
史の中で非常に綿々と培われているものだと  
理解しております。

教育委員会には、私ども商工労働部のほうか  
ら利用の促進を呼びかけたいと考えておりま  
す。

舎川委員

富山国際会議場について1点お伺いします。  
御報告のとおり、コロナ禍において非常に利  
用が少なく、売上高は1億6,000万円  
ということで大変減少したと。

今年度の事業計画を見ていると、コロナ禍に  
おいても少しは回復するというような予想な  
のかなと思うのです。グレードの高いサービ  
スといったことが書いてありますけれども、  
具体的にどういったことをされる予定で、売上  
げの増を狙っていくのでしょうか。

観光政策課長

昨年から少し増えてきているのが学校での利  
用で、入学式とか卒業式を比較的大きいところ  
で行う文化が定着してきて、昨年は営業で  
勝ち取ってきたという話をいただいています。  
それから、今回は新型コロナウイルスワクチ  
ン集団接種の会場になったりといったところで、  
通常使われなかった、いわゆる地元の利

用の部分について、稼働率の向上に努めようということで営業していただいているところでもあります。

舎川委員

まちなかのコンベンションという点では非常に有意性の高い建物だと思いますので、こういう利用は積極的に、私たちも何かお手伝いできることがあればと思います。

その中で、損益計算書を見ると、1億6,800万円の売上げがあって、残念ながら営業損失があります。

営業外収益の雑収入で、大きな金額の収入があります。例年あるものなのかどうか分かりませんが、これについて、こういった収入なのか教えていただければと思います。

観光政策課長

6,800万円につきましては、昨年にコロナ禍の影響がありまして、いわゆる持続化給付金の類い、それから、施設利用をキャンセルされる場合、通常は3割が本人負担になるところなのですが、これに関しましては、市のほうからも補助金を出しまして、利用者に全額お返ししたり、休業補償した部分での営業補償が雑収入として計上されているものでして、コロナ禍の影響で昨年度は上がったものでございます。

委員長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 ないようですので、これをもって質疑を終結いたします。

なお、ただいまの報告案件につきましては、議決不要のものです。

次に、商工労働部所管分で、議案及びただいまの報告以外に何か質問はございますか。

〔発言する者なし〕

委員長 ないようですので、この程度にとどめます。

以上で、経済環境委員会商工労働部所管分を終了いたします。

午前 11 時 49 分 休憩

~~~~~

午後 0 時 08 分 再開

委員長 経済環境委員会農林水産部所管分に入ります。

報告案件として提出されている

報告第 38 号 経営状況報告の件（株式会社八尾サービス）、

報告第 39 号 経営状況報告の件（株式会社

ほそいり)、
以上2件を一括議題といたします。
これより、順次、当局の説明を求めます。

農林事務所 〔報告第38号について、
農業振興課長 議案書により説明〕

農林事務所 〔報告第39号について、
農地林務課長 議案書により説明〕

委員長 これより、質疑に入ります。
質疑はございませんか。

舎川委員 株式会社八尾サービスのことでお聞きします。
株式会社八尾サービスは、指定管理者として
富山市八尾B&G海洋センタープールをこれ
まで管理運営されたと認識しているのですけ
れども、今年度から指定管理を外れたのです
か。

農林事務所 富山市八尾B&G海洋センタープールと富山
農業振興課長 市八尾ゆめの森テニスコートにつきましては、
今年度より株式会社八尾サービスの指定管理
から外れております。

舎川委員 すみません、ちょっと聞き取れなかったので

すが、指定管理から外れたのはプールだけですか。

農林事務所 富山市八尾B & G海洋センタープールと、富
農業振興課長 山市八尾ゆめの森テニスコートです。

舎川委員 分かりました。この2つが指定管理から外れたということですが、令和3年度予算を見ると、収益上はそんなに影響がないような状況だと思っています。

コロナ禍などの状況の中でなかなか厳しいかと思うのですが、八尾B & G海洋センタープール等が指定管理から外れても、売上げが上がっていくのだということで、予算の積算の根拠というか、こういった根拠でこういった数字になったのかお示しいただきたいと思います。

農林事務所 おっしゃるとおり、八尾B & G海洋センター
農業振興課長 プールの指定管理がほかに移ったことによって、予算上はそんなに影響はないのですが、そこで働いておられた職員が株式会社八尾サービスにまだ残られるということになりまして、実際のところ、人件費がかかってくるということになります。

新型コロナウイルスワクチン接種は確実に進

んでいて、今後の経済回復を期待しておりますが、コロナ禍の影響でまだ人流を抑えている状況でありまして、この4月、5月も前々年度よりは利用人数、収益等が若干落ち込んでいます。

今年度の経営状況試算などはちょっと難しいのですが、もうしばらく注視しながら一今のところ経費の削減ですとか、いろいろな支援制度を活用しておられます。それも継続しながら、落ち着いた時点で今後の計画などを考えていくものと思っております。

舎川委員

非常に厳しい環境だと思います。どう予算を組んでおられるのかは分かりませんが、去年の実績を見て、一定程度上がる予想とか一同レベルというのは同等かなと思うのですが一状況を見て、この予算についても一定程度精査して、令和3年度予算とかその次年度の予算で、目標を立てていただければいいのではないかなというふうに思いますけれども、これについてはどうでしょうか。

農林事務所
農業振興課長

今のところ、現段階の予算につきましては、コロナ禍以前の改善計画を進めた上での予算として計上しておられます。

委員長 ほかに質疑はございませんか。

〔発言する者なし〕

委員長 ないようですので、これをもって質疑を終結いたします。

なお、ただいまの報告案件につきましては、議決不要のものです。

次に、農林水産部所管分で、ただいまの報告以外に何か質問はありませんか。

舎川委員 昨年に大島議員等も質問しておられます肥料のことで質問させていただきたいと思います。いわゆる一発肥料は、マイクロプラスチックによる海洋汚染といった問題でも非常に配慮が必要だということで話題になっています。本年5月3日付の北日本新聞でも取り上げておられまして、マイクロプラスチックの微小なものが確認されているということでもあります。

環境にどういった影響があるのかということとは全体的にはまだ詳しくは分かっていない状況ですけれども、実際にそういったプラスチックなどについて、環境に配慮していこうというような大きな流れがある中で、話題になっていた一発肥料、コーティング肥料という

ものに対して現状どういったような認識で、また、利用状況などをもしつかんでおられたらお答えいただければと思います。

農業水産課長 今おっしゃいました一発肥料は、いわゆる合成樹脂、プラスチックでコーティングされている肥料になるのですが、こちらは田植のときに1回まくといいますか、1回入れるだけで済むもので非常に便利なものになっておりまして、水稻を作る農家にとっては非常に使いやすい肥料となっております。そういうこともありまして、富山県の農業研究所によりますと、県内の8割以上の水田で使用されているというふうに伺っております。

舎川委員 今の現状は、8割以上で使用されているということであります。先般、JAの方や地域の営農の方などといろいろ話をしておりますと、JAで新しい肥料—Jコートという商品があるそうなのですが、それに順次替えているということです。環境に配慮していくことも目指していこうということでもありますけれども、今後—これは環境部と非常に連携して、情報連携とか共有などをしていかないといけないのですが—富山市が所管して、何か実施しているとい

うわけではないのですけれども、セクショナルリズム的なものを排除して、そういった肥料からプラスチックをなくしていこうということ、環境部と一緒にやっっていこうというような方策とか取組など、今後どういったことをされようと考えておられるのかお伺いします。

農業水産課長 今、舎川委員がおっしゃいましたJコートにつきましては、令和2年産のおコメから切替えが始まっておりまして、本年度、令和3年産のコシヒカリと富富富については、全てJコートという新しい肥料に替わっております。この新しい肥料は、皮膜は合成樹脂なのですが、以前のものに比べて壊れやすく水に浮きにくい、水田の外に流出しにくいものとなっております。環境問題に配慮した肥料となっております。

また、Jコート以外に、合成樹脂の皮膜を使っていない肥料がございまして、いわゆる硫黄被覆肥料ですとか、ウレアホルム肥料といった新しい肥料があるのですが、こちらのほうは、従来と同じように生育できるか、また、同等の収量、品質のおコメが取れるかどうかは、今のところまだ不確定でございまして、富山県の農業研究所の試験場等で今後試験し

ていただく必要があるのではないかと考えております。

舎川委員 情報連携しながら、その辺をバックアップしていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

澤田委員 議案説明資料の5ページに絡んでくるのではないかと思っているのですが、農福連携についてお聞きします。

今、農林水産省、それから厚生労働省も積極的に取り組んでいる案件だと思うのですが、富山市において農福連携関連の実績があれば教えていただきたいです。

農政企画課長 農福連携につきましては、就労支援事業所が導入、参入する形態と、農業者が障害者を雇用する形態、社会福祉法人等の社会福祉事業所が農作業を請け負う形態の3形態があります。

現在までにおいて、最初に言いました就労支援事業所が導入、参入する形態では7法人、148人で、農業者が障害者を雇用する形態では5法人、25人、社会福祉法人等の福祉事業所が農作業を請け負う形態は6法人、23人が農業に参入されているという状況にな

っております。

澤田委員 その障害を持った方たちの内訳は分かりますか。

農政企画課長 そこまで詳しくは把握していません。

澤田委員 マッチングを考えていくときに、その辺はかなり重要なところになってくると思うので、その辺をもう少し精査されて、今後マッチングにつなげていくときの材料にされたいのではないかと思います。

農政企画課長 今、委員がおっしゃったとおり、マッチングがすごく難しく、農業にしろ、福祉にしろ、農福連携というものは知名度がまだまだ低い部分があり、こちらとしてもPR等を実施していくということが1つあります。

作業に取り組みやすい環境づくりなど、各種配慮が必要になることが非常に多いので、今年度から富山市の障害福祉センターにて障害者の一般就労の支援等を行っていただける就労移行コーディネーターという方がおられまして、こういう方たちと依頼業務とか希望業務等の条件のすり合わせというか、そういうものを連携して障害を取り除くような形でやっ

ていければと。そこら辺を、委員がおっしゃったように強化していきたいと考えております。

澤田委員 追加で、福祉において生活困窮者に対する支援もやっていると思います。その辺と農業との絡みを今後どのようにしたいと考えていますか。

農政企画課長 コロナ禍における農業への移行というか、就職支援といったような形で、いわゆる生活保護を受けている方々にも案内をしてほしいということで、チラシの設置や、なるべくこちらのほうに相談してほしいということを生活支援課にお願いしております。

「#コロナ転職」事業という形で実施しております。

澤田委員 周知の方法はどういうものなのですか。ホームページだけですか。

農政企画課長 ホームページ等でも周知しておりますし、先ほど言いましたように、いわゆる困窮者支援という形で、生活支援課の窓口のほうに直接チラシも置かせていただくなどして、お願いはしております。

澤田委員 今後、農業を育てていくときに大変重要な課題だと思っていますので、今後も精査しながらやっていただきたいと思います。

委員長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 ないようですので、この程度にとどめます。以上で、経済環境委員会農林水産部所管分を終了いたします。これで、6月定例会の当委員会に付託されました全議案の審査は終了いたしました。委員各位に御相談申し上げます。委員長報告については、正・副委員長に御一任願いたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 それでは、そのように取り計らいます。これをもって、令和3年6月定例会の経済環境委員会を閉会いたします。

令和3年6月定例会
経済環境委員会記録署名

委員長 押田大祐

署名委員 上野 蛍

署名委員 舎川智也